

C・G・ユング邦訳文献一覧
— ドイツ語版ユング全集対応 —

前田 正 佐渡忠洋

心身マネジメント学科

List of C. G. Jung's Works Translated into Japanese
Based on his *Gesammelte Werke* (German Version of Collected Works)

Tadashi MAEDA, Tadahiro SADO

要 旨

本稿は、日本語訳されてきたC・G・ユング著作を一覧にまとめたものである。本稿の記載は『全集』と『他の著作』の二部構成とした。第一部である『全集』の記載はドイツ語版ユング全集に従い、把握できた限りの邦訳文献を記した。日本語文献がある著作の一部の翻訳である場合、訳出部分はパラグラフ数を使って明示した。第二部にあたる『他の著作』は邦訳されたもののみを記した。本稿はユングの思想と人間の魂に関心を持つ方々に貢献するだろう。

キーワード：C・G・ユング、全集、著作目録

Abstract

This paper is a list of C. G. Jung's works that have been translated into Japanese. The list consists of two parts, collected works and other works. The list of collected works in part one was described in the same way as *Gesammelte Werke* (German Version of Collected Works) and we included as many pieces of productions that were translated into Japanese as we could get. For Japanese document that is a partial translation of the original, we clarified the translated part using the paragraph number. Other works, part two, describes only pieces of productions that have ever translated into Japanese. We believe that this material will be useful for people who are interested in Jungian psychology and soul making..

Keywords : C. G. Jung, Collected Works, bibliography

1. はじめに

1.1 背景と目的

スイスの心理学者カール・グスタフ・ユング (Carl Gustav Jung; 1875-1961) は、心理臨床の領域で極めて重要な業績を残した巨星の1人である。彼の思想は分野を超えて今なお影響力をもっている。ユングの分析心理学を学び実践する上で拠り所となるのは、教育分析を除けば、彼の著作となろう。ユングの著作の大半は彼の『全集 Gesammelte Werke / Collected Works』に収められており、ドイツ語版・英語版『全集』はアカデミックな場で度々活用されている——その編集に問題意識をもつ研究者もいるが。したがって、この『全集』が一応の基準のようなものとなるため、最近『フロイト全集』が邦訳刊行されたように、『ユング全集』のそれも期待されるのだが、なかなか難しいのが現実であろう。

ユングの著作はこれまでに多く邦訳されている。しかし、それらは『全集』の形で刊行されていないため、日本語で彼の著作に当たる折、どうしても“検索”などの煩雑な作業が入る。また、ユングが本当に言いたかったことを原著に帰らずに考えようとするなら、複数の邦訳の比較、訳者の選択という作業まで入るかもしれない。しかも、ある邦訳が著作の一部の場合も抄訳の場合もある。そうした現状を鑑みて、われわれは本稿で、ユングの邦訳文献を一覧にして報告することにした。ユングの著作に関心をもつ方々に寄与する情報であると考えたためである。

1.2 一覧の提示方法について

ここで報告する一覧は、『全集』と『他の著作』の2部から成る。

1) 『全集』

第一部に当たる『全集』は、Walter Verlag (現在のPatmos Verlag) のドイツ語版『全集』全20巻に依った。全巻所収の著作題目をすべてドイツ語で記した。その際、各巻が第何版に従ったかも明示した。各巻に所収されている著作順に、刊行年、頁数 (SS)、およびパラグラフ数 (§) も記した。巻内の著作通し番号は、第19巻の記載に従った。

著作の記述に関して、第18、19、20巻は例外となる。第18巻は各巻の補遺となる短文の著作が多数所収されているので、通し番号4以降は、邦訳がある場合のみ著作を記載した。第19巻は『Bibliographie』で第20巻は『Registerband』であるため、詳細は記すに値しないと考えた。

分量を考慮して、ここでは英語版『全集』を詳細に記載しない。それでも、本資料を活用する上でドイツ語版と英語版の対応を最低限明示しておく方が便利であろう。両版の対応は改訂を経て増してはいるものの、第6、8、11、14巻に違いがあるためである。そこでまず、英語

版は Princeton University Press の『全集』^{註1} に従い、第6、8、11、14巻では差異がある場合のみ、英語版のパラグラフ数 (グレー網掛けで E§) も併記した——ただし、第6巻では訳出部分にパラグラフの差異がなかったため E§ は記載されない。

2) 『他の著作』

第二部『他の著作』とは、『全集』に所収されていない著作を意味する。ドイツ語版『全集』の『Appendixbande』と『Ergänzungsband』もこちらに配置される。これに入る資料は多数存在し、Philemon Foundation から今後も刊行予定となっている。本稿の目的より、ここには邦訳された文献のみを挙げる。また、分量を考慮して、原著は邦訳で使用したものだけを記した。

1.3 いわゆる原著について

ある邦訳文献が「何から・何処からの訳か」をきめ細かに考えていくと際限がない。『全集』から訳した場合もあるし、初出論文や、その改訂版や、さらにそれをまとめた著作集から訳した場合もある。なによりもユングは、自らの著作を何度も書き直すタイプの人であった。

ある著作の初出からの邦訳は、その訳者のこだわりや誠実さの表れであったり、文献学的な手続きであったり、歴史的資料の尊重であったりする。しかし、本稿は『全集』に従って記載するため、すべての邦訳文献は可能な限り『全集』に基づいて (還元して) 考えることにした。

1.4 邦訳文献の記載について

本一覧ではすべて実物にあたって吟味した。実物が入手・複写できなかった場合には、その旨も記した。

各邦訳文献はその原著の記載直後に記した。その際、どの言語の著作に依った邦訳であるかを明らかにするために、原著言語の種別をドイツ語は「◇」で、英語は「◆」で、フランス語は「*」で表した。英語とフランス語からの邦訳だからといって、決して重訳ではない場合もある。

邦訳文献の記載は、次の順序で行った。書籍の場合は、「題目」、『著名』、出版社、頁数、発行年、訳者。論文等の場合は、「題目」、『雑誌名』、巻号、頁数、発行年、訳者。編者がいる場合はそのことも記載してある。

邦訳が原著の部分訳である場合、訳された箇所を【 】の中に § を使って記した。訳出部分が特定できなかった時は「抄訳」(下線付き) と記載した。

同一の著作の邦訳が多数あったとしても、そして同一の訳者のもの、転載のものであったとしても、すべて記載した。ただし、書籍の新装版や改装版にはその存在を触れるにとどめた。

2. 『全集』

Bd. 1: Psychiatrische Studien (5. Auflage 2001)

1. Zur Psychologie und Pathologie sogenannter okkultur Phänomene. (1902: SS. 1-98; § 1-150)
◇「心霊現象の心理と病理」『心霊現象の心理と病理』法政大学出版局, pp. 1-123. 1982. 宇野昌人, 岩堀武司, 山本淳訳. ※2006年に新装版.
2. Über hysterisches Verlesen: Eine Erwiderung an Herrn Hahn. (praktizierender Arzt in Zürich). (1904: SS. 99-102; § 151-165)
3. Kryptomnesie. (1905: SS. 103-115; § 166-186)
◇「潜在記憶」『心霊現象の心理と病理』法政大学出版局, pp. 125-141. 1982. 宇野昌人, 岩堀武司, 山本淳訳. ※2006年に新装版.
4. Über manische Verstimmung. (1903: SS. 117-145; § 187-225)
5. Ein Fall von hysterischem Stupor bei einer Untersuchungsgefangenen. (1902: SS. 147-167; § 226-300)
6. Über Simulation von Geistesstörung. (1903: SS. 169-201; § 301-355)
7. Ärztliches Gutachten über einen Fall von Simulation geistiger Störung. (1904: SS. 203-221; § 356-429)
8. Obergutachten über zwei widersprechende psychiatrische Gutachten. (1906: SS. 223-233; § 430-477)
9. Zur psychologischen Tatbestandsdiagnostik. (1905: SS. 235-237; § 478-484)

Bd. 2: Experimentelle Untersuchungen

(3. Auflage 1991)

1. Experimentelle Untersuchungen über Assoziationen Gesunder. Mit Franz Riklin. (1904/1906: SS. 13-213; § 1-498)
◇「正常者の連想についての実験的研究」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 9-206. 1993. 高尾浩幸訳.
2. Analyse der Assoziationen eines Epileptikers. (1905/1906: SS. 214-238; § 499-559)
◇「癲癇患者の連想の分析」『連想実験』みすず書房, pp. 129-175. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
◇「ある癲癇患者の連想分析」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 207-235. 1993. 高尾浩幸訳.
3. Über das Verhalten der Reaktionszeit beim Assoziationsexperimente. (1905/1906: SS. 239-288; § 560-638)
◇「連想検査における反応時間の動向について」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 237-296. 1993. 高尾浩幸訳.

4. Experimentelle Beobachtungen über das Erinnerungsvermögen. (1905: SS. 289-307; § 639-659)
5. Psychoanalyse und Assoziationsexperiment. (1905/1906: SS. 308-337; § 660-727)
◇「精神分析と連想実験」『連想実験』みすず書房, pp. 51-105. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
◇「精神分析と連想検査」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 297-334. 1993. 高尾浩幸訳.
6. Die psychologische Diagnose des Tatbestandes. (1906/1941: SS. 338-374; § 728-792)
7. Assoziation, Traum und hysterisches Symptom. (1906/1909: SS. 375-428; § 793-862)
◇「連想、夢、そしてヒステリー症状」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 335-405. 1993. 高尾浩幸訳.
8. Die psychopathologische Bedeutung des Assoziationsexperimentes. (1906: SS. 429-446; § 863-917)
9. Über die Reproduktionsstörungen beim Assoziationsexperiment. (1907/1909: SS. 447-460; § 918-938)
◇「連想実験における再生の乱れについて」『連想実験』みすず書房, pp. 177-203. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
◇「連想検査における再生の障害について」『診断学的連想研究 (ユング・コレクション7)』人文書院, pp. 407-423. 1993. 高尾浩幸訳.
10. Die Assoziationsmethode. (1910: SS. 461-487; § 939-998)
◆「聯想實驗法」日本變態心理學會編『ユング論文集 聯想實驗法 其他 (近世變態心理學大觀, 第10卷)』日本變態心理學會, pp. 1-36. 1926. 中村古峽訳.^{註2}
◆「聯想實驗法」『聯想實驗法 其他』日本精神醫學會, pp. 1-36. 1927. 中村古峽訳.
◇「連想実験の方法」『ユング研究』3, 63-88. 1991. 林道義監訳, 磯前順一, 和田光俊訳.
◇「連想実験の方法」『連想実験』みすず書房, pp. 3-49. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
11. Die familiäre Konstellation. (1910: SS. 488-500; § 999-1014)
◆「家族的星座」日本變態心理學會編『ユング論文集 聯想實驗法 其他 (近世變態心理學大觀, 第10卷)』日本變態心理學會, pp. 36-54. 1926. 中村古峽訳.
◆「家族的星座」『聯想實驗法 其他』日本精神醫學會, pp. 36-54. 1927. 中村古峽訳.
◇「家族的布置」『ユング研究』3, 89-101. 1991. 林道義監訳, 和田光俊訳.
◇「家族的布置」『連想実験』みすず書房, pp. 107-128. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
◇「家族的布置」『診断学的連想研究 (ユング・コレク

- ション7)』人文書院, pp. 425-440. 1993. 高尾浩幸訳.
12. Über die psychophysischen Begleiterscheinungen im Assoziationsexperiment. (1907: SS. 503-511; § 1015-1035)
13. Psychophysische Untersuchungen mit dem Galvanometer und dem Pneumographen bei Normalen und Geisteskranken. Mit Frederick Peterson. (1907: SS. 512-575; § 1036-1179)
14. Weitere Untersuchungen über das galvanische Phänomen und die Respiration bei Normalen und Geisteskranken. Mit Charles Ricksher. (1907: SS. 576-604; § 1180-1311)

Appendix:

15. Statistisches von der Rekrutenaushebung. (1906: SS. 607-609; § 1312-1315)
16. Neue Aspekte der Kriminalpsychologie: Ein Beitrag zur Methodik der psychologischen Tatbestandsdiagnose. (1906: SS. 610-620; § 1316-1347)
17. Die an der Psychiatrischen Klinik in Zürich gebräuchlichen psychologischen Untersuchungsmethoden. (1910: S. 621; § 1348)
18. Ein kurzer Überblick über die Komplexlehre. (1911: SS. 622-628; § 1349-1356)
- ◇「コンプレックス概論」『連想実験』みすず書房, pp. 205-216. 1993. 林道義訳. ※2000年に新装版.
19. Zur psychologischen Tatbestandsdiagnostik: Das Tatbestandsexperiment im Schwurgerichtsprozess. (1937: SS. 629-638; § 1357-1388)

Bd. 3: Psychogenese der Geisteskrankheiten

(3. Auflage 1985)^{註3}

1. Über die Psychologie der Dementia praecox: Ein Versuch. (1907: SS. 1-170; § 1-316)
- ◇「早発性痴呆の心理」『分裂病の心理』青土社, pp. 63-295. 1979. 安田一郎訳. ※2003年に新装版.
2. Der Inhalt der Psychose. (1908/1914: SS. 171-215; § 317-424)^{註4}
- ◆「精神病学に於ける人本主義的運動 (上)」『心理研究』13 (1), 76-90. 1918. 小熊虎之介訳. / 「精神病学に於ける人本主義的運動 (下)」『心理研究』13 (2), 57-72. 1918. 小熊虎之介訳. 【§ 317-387の訳】
- ◆「附録 精神病者の内質」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 263-302. 1926. 小熊虎之助訳. 【§ 317-387の訳】
- ◆「附録 精神病者の内質」『聯想実験法 其他』日本精神医学會, pp. 265-302. 1927. 小熊虎之助訳. 【§ 317-387の訳】
- ◇「精神病の内容」『分裂病の心理』青土社, pp. 7-37. 1979. 安田一郎訳. 【§ 320-387の訳】 ※2003年に新装版.
- ◆「心理学的了解について」『分裂病の心理』青土社, pp. 39-

61. 1979. 安田一郎訳. 【§ 388-424の訳】 ※2003年に新装版.

3. Kritik über E. Bleuler: Zur Theorie des schizophrenen Negativismus. (1911: SS. 217-224; § 425-437)
4. Über die Bedeutung des Unbewußten in der Psychopathologie. (1914: SS. 225-234; § 438-465)
- ◆「精神病学に於ける無意識の重要性に就いて」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 231-243. 1926. 中村古峽訳.
- ◆「精神病学に於ける無意識の重要性に就いて」『聯想実験法 其他』日本精神医学會, pp. 231-243. 1927. 中村古峽訳.
- ◇「精神病学における無意識の意味について」土肥美夫編『チューリヒ——予兆の十字路 (ドイツの世紀末, 第5巻)』国書刊行会, pp. 222-231. 1987. 春山清純訳.
5. Über das Problem der Psychogenese bei Geisteskrankheiten. (1919: SS. 235-252; § 466-495)
6. Geisteskrankheit und Seele. (1928: SS. 253-259; § 496-503)
7. Über die Psychogenese der Schizophrenie. (1939: SS. 261-281; § 504-541)
8. Neuere Betrachtungen zur Schizophrenie. (1956/1959: SS. 283-291; § 542-552)
9. Die Schizophrenie. (1958: SS. 293-312; § 553-584)
- ◇「精神分裂病」『現代のエスプリ 150, 40-50. 1980. 関忠盛訳.

Bd. 4: Freud und die Psychoanalyse

(5. Auflage 2001)

1. Die Hysterielehre Freuds: Eine Erwiderung auf die Aschaffenburgsche Kritik. (1906: SS. 1-10; § 1-26)
2. Die Freudsche Hysterietheorie. (1908: SS. 11-28; § 27-63)
3. Die Traumanalyse. (1909: SS. 29-40; § 64-94)
- *「夢の分析」『ユング 夢分析論』みすず書房, pp. 117-129. 2016. 横山博監訳, 大塚紳一郎訳.
4. Ein Beitrag zur Psychologie des Gerüchtes. (1910/1911: SS. 41-57; § 95-128)
5. Ein Beitrag zur Kenntnis des Zahlentraumes. (1910/1911: SS. 59-69; § 129-153)
- ◇「数の夢に関する考察」『ユング 夢分析論』みすず書房, pp. 131-142. 2016. 横山博監訳, 大塚紳一郎訳.
6. Morton Prince M.D. «The Mechanism and Interpretation of Dreams»: Eine kritische Besprechung. (1911: SS. 71-93; § 154-193)
7. Zur Kritik über Psychoanalyse. (1910: SS. 95-100; § 194-196)
8. Zur Psychoanalyse. (1912: SS. 101-106; § 197-202)
9. Versuch einer Darstellung der psychoanalytischen Theorie. (1913/1955: SS. 107-255; § 203-522)

- ◇「エディプス・コンプレックス」『エビステーメー』4 (11), 121-126. 1978. 松代洋一訳. 【§ 340-352 の訳】
- ◇「エディプス・コンプレックス」『創造する無意識 (ポストモダン叢書, 11)』朝日出版社, pp. 57-73. 1985. 松代洋一訳. 【§ 340-352 の訳】
- ◇「エディプス・コンプレックス」『創造する無意識 (平凡社ライブラリー, 140)』平凡社, pp. 97-110. 1996. 松代洋一訳. 【§ 340-352 の訳】
10. Allgemeine Aspekte der Psychoanalyse. (1913: SS. 257-273; § 523-556)
- ◆「精神分析法私見」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 121-161. 1926. 中村古峽訳.
- ◆「精神分析法私見」『聯想実験法 其他』日本精神医学会, pp. 121-161. 1927. 中村古峽訳.
- ◇「精神分析の一般的諸問題」『ユング研究』3, 102-113. 1991. 林道義監訳, 石川公訳.
11. Über Psychoanalyse. (1916: SS. 275-286; § 557-575)
- ◇「精神分析とノイローゼ」『ユング研究』3, 114-121. 1991. 林道義監訳, 石川公訳.
12. Psychotherapeutische Zeitfragen. Ein Briefwechsel zwischen C. G. Jung und R. Loy. (1914: SS. 287-331; § 576-669)
- ◆「精神分析技法に於ける二三の要點に就いて——ユング博士とローイ博士との文通」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 163-229. 1926. 中村古峽訳.
- ◆「精神分析技法に於ける二三の要點に就いて」『聯想実験法 其他』日本精神医学会, pp. 163-229. 1927. 中村古峽訳.
13. Vorreden zu den «Collected Papers an Analytical Psychology». (1916/1917/1920: SS. 333-344; § 670-692)
- ◆「原序」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 163-229. 1926. 中村古峽訳. 【§ 670-683 の訳】
- ◆「原序」『聯想実験法 其他』日本精神医学会, pp. 1-6. 1927. 中村古峽訳. 【§ 670-683 の訳】
14. Die Bedeutung des Vaters für das Schicksal des Einzelnen. (1909/1962: SS. 345-370; § 693-744)
- ◇「個人に運命に於ける父の意義」日本変態心理学会編『ユング論文集 聯想実験法 其他 (近世変態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理学会, pp. 91-119. 1926. 中村古峽訳.
- ◇「個人に運命に於ける父親の意義」『聯想実験法 其他』日本精神医学会, pp. 91-119. 1927. 中村古峽訳.
- ◆「個人の運命における父親の意味」『現代のエスプリ』96, 100-107. 1975. 小川捷之訳. 【§ 693-695, 731-744 の訳】
- ◆「個人の運命における父親の意味」A・サミュエルズ編『父親』紀伊国屋書店, pp. 313-335. 1987. 小川捷之訳. 【§ 693-695, 700-744 の訳】
- ◇「個人の運命に対する父親の意義」『Imago』1 (4), 80-95. 1990. 安田一郎訳.
15. Einführung zu W. M. Kranefeldt «Die Psychoanalyse». (1930: SS. 371-382; § 745-767)
16. Der Gegensatz Freud und Jung. (1929/1968: SS. 383-393; § 768-784)
- ◇「フロイトとユングの対立」『エビステーメー』3 (4), 62-69. 1977. 菊盛英夫訳.
- ◇「フロイトとユングの対立」『ユング研究』3, 122-130. 1991. 林道義監訳, 磯上恵子訳.
- Bd. 5: Symbole der Wandlung (7. Auflage 1996)
(1952: SS. 8-561; § 1-685)^{註5}
- ◆「生命力の發展」『世界大思想全集, 第1期44』春秋社, pp. 1-298. 1931. 中村古峽訳.^{註6}
- ◇「『変化の象徴』より 蛾の歌1」『ユリイカ』14 (11), 238-247. 1982. 野村美紀子訳. / 「『変化の象徴』より 蛾の歌 (承前)」『ユリイカ』14 (12), 182-197. 1982. 中村美紀子訳. 【§ 115-175 の訳】
- ◇『変容の象徴』筑摩書房. 1985. 野村美紀子訳.
- ◇「二種類の思考について——『リビドーの変容と象徴』より」土肥美夫編『チューリヒ——予兆の十字路 (ドイツの世紀末, 第5巻)』国書刊行会, pp. 213-221. 1987. 春山清純訳. 【§ 25-37 の訳】
- ◇『変容の象徴 (上)』筑摩書房. 1992. 野村美紀子訳. / 『変容の象徴 (下)』筑摩書房. 1992. 野村美紀子訳.
- Bd. 6: Psychologische Typen
(17. Vollständig überarbeitete Auflage 1994)
(1921/1950: SS. 1-590; § 1-987)^{註7}
- ◇『人間のタイプ (ユング著作集1)』日本教文社. 1957. 高橋義孝訳. 【§ 556-857 の訳】 ※1970年に改裝版, 2014年にPOD版.
- ◇「人間知における類型問題」『同志社外国文学研究』7-8, 325-343. 1974. 吉村博次訳. 【§ 243-274 の訳】
- ◇「心理学的類型」懸田克躬責任編集『ユング フロム (世界の名著続14)』中央公論社, pp. 75-216. 1974. 吉村博次訳. 【§ 1-7, 243-274, 556-671 の訳】
- ◇「心理学的類型」懸田克躬責任編集『ユング フロム (中公バックス 世界の名著76)』中央公論社, pp. 75-216. 1974. 吉村博次訳. 【§ 1-7, 243-274, 556-671 の訳】
- ◇『心理学的類型I (ユング・コレクション1)』人文書院. 1986. 佐藤正樹訳. / 『心理学的類型II (ユング・コレクション2)』人文書院. 1987. 高橋義孝, 森川俊夫, 佐藤正樹訳.
- ◇『タイプ論』みすず書房. 1987. 林道義訳.
- ◇『心理学的類型 (中公クラシックス)』中央公論新社. 2012. 吉村博次訳. 【§ 1-7, 243-274, 556-671】
- Bd. 7: Zwei Schriften über Analytische Psychologie
(5. Auflage 1996)
1. Über die Psychologie des Unbewußten. (1943/1966:

SS. 11-125; § 1-201)

- ◇『人生の午後三時』新潮社。1956。高橋義孝訳。
- ◇『無意識の心理』人文書院。1977。高橋義孝訳。 ※2017年に新装版。
- 2. Die Beziehungen zwischen dem Ich und dem Unbewußten. (1928/1966: SS. 127-247; § 202-406)
- ◇『自我と無意識の關係』人文書院。1982。野田倬訳。 ※2017年に新装版
- ◇『自我と無意識』思索社。1984。松代洋一、渡辺学訳。
- ◇『自我と無意識 (レグルス文庫)』第三文明社。1995。松代洋一、渡辺学訳。

Appendix:

- 3. Neue Bahnen der Psychologie. (1912: SS. 251-274; § 407-441)
- 4. Die Struktur des Unbewußten. (1916: SS. 275-320; § 442-521)

Bd. 8: Die Dynamik des Unbewußten

(7. Auflage 1995)

- 1. Über die Energetik der Seele. (1928/1971: SS. 11-78; § 1-130)
- 2. Die transzendente Funktion. (1916/1958: SS. 79-108; § 131-193)
- ◇「夢と超越機能」『エピステーメー』4 (6), 119-135。松代洋一訳。【§ 131-166の訳】
- ◇「超越機能」『創造する無意識 (ポストモダン叢書, 11)』朝日出版社, pp. 75-136。1985。松代洋一訳。
- ◇「超越機能」『創造する無意識 (平凡社ライブラリー, 140)』平凡社, pp. 111-162。1996。松代洋一訳。
- 3. Allgemeines zur Komplextheorie. (1934/1971: SS. 109-123; § 194-219)
- ◇「コンプレックス総論」『連想実験』みすず書房, pp. 217-241。1993。林道義訳。 ※2000年に新装版。
- 4. Die Bedeutung von Konstitution und Vererbung für die Psychologie. (1929: SS. 125-133; § 220-231)
- 5. Psychologische Determinanten des menschlichen Verhaltens. (1936/1942: SS. 135-148; § 232-262)
- 6. Instinkt und Unbewußtes. (1928/1971: SS. 149-160; § 263-282)
- ◇「本能と無意識」『エピステーメー』3 (4), 23-29。1977。平野具男訳。
- 7. Die Struktur der Seele. (1928/1969: SS. 161-182; § 283-342)
- ◇「心の構造」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 91-123。1955。高橋義孝、江野専次郎訳。 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
- 8. Theoretische Überlegungen zum Wesen des Psychischen. (1947/1954: SS. 183-261; § 343-442)
- ◇「心理学と無意識」『現代思想』2 (3), 95-102。1974。高橋巖訳。【§ 356-364の訳】

- ◇「心の本質についての理論的考察」『ユング研究』6, 184-204。1993。林道義・磯上恵子訳。 / 「心の本質についての理論的考察 (2)」『ユング研究』, 7, 205-226。1993。林道義・磯上恵子訳。 / 「心の本質についての理論的考察 (3・完)」『ユング研究』9, 134-167。1994。林道義・磯上恵子訳。
- ◇「心の本質についての理論的考察」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 289-367。1999。林道義訳。
- 9. Allgemeine Gesichtspunkte zur Psychologie des Traumes. (1928/1971: SS. 263-308; § 443-529)
- ◆「夢の心理」日本変態心理學會編『ユング論文集 聯想實驗法 其他 (近世變態心理學大観, 第10巻)』日本変態心理學會, pp. 245-264。1926。中村古峽訳。
- ◆「夢の心理」『聯想實驗法 其他』日本精神醫學會, pp. 245-264。1927。中村古峽訳。
- ◇「夢の心理学」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 59-116。1980。秋山さと子、野村美紀子訳。
- ◇「夢心理学の一般的諸相 (I)」『英語英文学論集』18, 1-10。1987。鈴木俊司、森隆訳。 / 「夢心理学の一般的諸相 (II)」『英語英文学論集』19, 21-31。1988。鈴木俊司、森隆訳。【§ 443-491の訳】
- ◇「夢心理学概論」『ユング 夢分析論』みすず書房, pp. 35-93。2016。横山博監訳, 大塚紳一郎訳。
- 10. Vom Wesen der Träume. (1945/1971: SS. 309-327; § 530-569)
- ◇「夢の本質」『エピステーメー』3 (4), 8-22。1977。宮本忠夫、吉野啓子訳。
- ◇「夢の本質について」『ユング 夢分析論』みすず書房, pp. 95-116。2016。横山博監訳, 大塚紳一郎訳。
- 11. Die psychologischen Grundlagen des Geistesglaubens. (1928/1971: SS. 329-348; § 570-600)
- ◆「霊への信仰の心理学的基礎」島津彬郎、松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 34-60。1989。島津彬郎、松田誠思訳。
- ◆「無意識の心理学」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 21-56。2000。島津彬郎訳。
- ◇「霊の信仰の心理学的基礎」『Imago』1 (3), 56-71。1990。安田一郎訳。
- ◇「霊の信仰の心理学的基礎」J・B・イボン編『超心理学入門』青土社, pp. 119-174。1993。安田一郎訳。
- 12. Geist und Leben. (1926/1969: SS. 349-369; § 601-648)
- ◇「精神と生命」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 227-260。1955。高橋義孝、江野専次郎訳。 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
- 13. Das Grundproblem der gegenwärtigen Psychologie. (1931/1969: SS. 371-391; § 649-688)
- ◇「現代心理学の根本問題」『こころの構造——近代心理学の應用と進歩 (ユング著作集3)』日本教文社, pp. 3-38。1955。江野専次郎訳。 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
- ◇「現代心理学の根本問題」『現代のエスプリ』134, 39-58。

1978. 江野専次郎訳。
14. Analytische Psychologie und Weltanschauung. (1931/1969: SS. 393-418; § 689-741)
15. Wirklichkeit und Überwirklichkeit. (1933: SS. 419-423; § 742-748)
16. Die Lebenswende. (1931/1969: SS. 425-442; § 749-795)
◇「人生の転換期」『現代思想』7 (5), 42-55. 1979. 鎌田輝男訳。
17. Seele und Tod. (1934/1969: SS. 443-455; § 796-815)
◇「魂と死」『こころの構造——近代心理学の應用と進歩 (ユング著作集 3)』日本教文社, pp. 227-245. 1955. 江野専次郎訳。 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
◆「魂と死」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 61-79. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「魂と死」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 93-119. 2000. 島津彬郎訳。
18. Synchronizität als ein Prinzip akausaler Zusammenhänge. (1952: SS. 457-553; § 816-958; E § 816-968)
◆「共時性——非因果的連関の原理」C・G・ユング, W・パウル著『自然現象と心の構造』海鳴社, pp. 1-146. 1976. 河合隼雄訳。
19. Über Synchronizität. (1952: SS. 555-566; § 959-987; E § 869-997)
◇「共時性」『エピステーメー』2 (2), 126-136. 1976. 高橋巖訳。
◇「共時性」エラノス会議編, 井筒俊彦, 上田閑照, 河合隼雄日本語版監修『時の現象学II (エラノス叢書 2)』平凡社, pp. 285-304. 1991. 河合隼雄訳。
- Bd. 9/I: Die Archetypen und das kollektive Unbewusste (9. Auflage 1996)**
1. Über die Archetypen des kollektiven Unbewußten. (1935/1954: SS. 11-51; § 1-86)
◇「集合的無意識の元型について」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 138-189. 1981. 野村美紀子訳。
◇「集合的無意識のいくつかの元型について」『元型論——無意識の構造』紀伊国屋書店, pp. 29-90. 1982. 林道義訳。
◇「集合的無意識の諸元型について」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 27-76. 1999. 林道義訳。
2. Der Begriff des kollektiven Unbewußten. (1936: SS. 53-66; § 87-110)
◇「集合無意識の概念」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 121-137. 1981. 野村美紀子訳。
◇「集合的無意識の概念」『元型論——無意識の構造』紀伊国屋書店, pp. 9-28. 1982. 林道義訳。
◇「集合的無意識の概念」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 11-25. 1999. 林道義訳。
3. Über den Archetypus mit besonderer Berücksichtigung des Animabegriffes. (1936/1954: SS. 67-87; § 111-147)
◇「元型——とくにアニマの概念について」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 190-212. 1981. 野村美紀子訳。
◇「元型——とくにアニマ概念をめぐって」『元型論——無意識の構造』紀伊国屋書店, pp. 91-118. 1982. 林道義訳。
◇「元型——とくにアニマ概念をめぐって」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 77-98. 1999. 林道義訳。
4. Die psychologischen Aspekte des Mutterarchetypus. (1939/1954: SS. 89-123; § 148-198)
◇「母親元型の心理学的諸相」『エピステーメー』3 (4), 30-38. 1977. 鈴木直訳。【§ 148-160の訳】
◇「心理学から見た母の元型」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 213-255. 1981. 野村美紀子訳。
◇「母親元型——その心理学との関わり」『元型論——無意識の構造』紀伊国屋書店, pp. 119-168. 林道義訳。1982。
◇「母元型の心理学的諸側面」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 99-138. 1999. 林道義訳。
5. Über Wiedergeburt. (1940/1950: SS. 125-161; § 199-258)
◇「新生について」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 73-118. 1981. 野村美紀子訳。
◇「生まれ変わりについて」『個性化とマンダラ』みすず書房, pp. 3-48. 1991. 林道義訳。 ※2016年に新装版。
6. Zur Psychologie des Kindarchetypus. (1940/1950: SS. 163-195; § 259-305)
◆「幼児元型の心理学のために」K・ケレーニイ, C・G・ユング著『神話学入門』晶文社, pp. 101-138. 1975. 杉浦忠夫訳。
◇「童児元型——神話に見られる」『続・元型論』紀伊国屋書店, pp. 43-88. 1983. 林道義訳。
◇「童児元型」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 171-209. 1999. 林道義訳。
7. Zum psychologischen Aspekt der Korefigur. (1941/1951: SS. 197-220; § 306-383)
◆「コレー像の心理学的位相について」K・ケレーニイ, C・G・ユング著『神話学入門』晶文社, pp. 203-228. 1975. 杉浦忠夫訳。
◇「母娘元型——デメテル=コレー神話」『続・元型論』紀伊国屋書店, pp. 9-42. 1983. 林道義訳。
◇「母娘元型——デメテル=コレー神話」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 139-170. 1999. 林道義訳。
8. Zur Phänomenologie des Geistes im Märchen. (1946/1948: SS. 221-269; § 384-455)
◇「お伽噺の精神の現象学」『人間心理と教育 (ユング著作集 5)』日本教文社, pp. 175-250. 1956. 西丸四方訳。 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
◇「お伽噺の精神の現象学」『現代のエスプリ』134, 131-150.

1978. 西丸四方訳. 【§ 385-418 の訳】
- ◇「メルヘンの精神現象学」秋山さと子編『ユングの象徴論』思索社, pp. 9-69. 1981. 野村美紀子訳.
- ◇「精神元型——お伽噺に見られる」『続・元型論』紀伊国屋書店, pp. 117-183. 1983. 林道義訳.
- ◇「精神元型——おとぎ話に見られる」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 235-287. 1999. 林道義訳.
9. Zur Psychologie der Tricksterfigur. (1954: SS. 271-290; § 456-488)
- ◆「トリックスター像の心理」P・ラディン, K・カレニイ, C・G・ユング著『トリックスター』晶文社, pp. 257-277. 1974. 河合隼雄訳.
- ◇「トリックスター元型——インディアン神話によせて」『続・元型論』紀伊国屋書店, pp. 89-115. 1983. 林道義訳.
- ◇「トリックスター元型——インディアン神話によせて」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 211-233. 1999. 林道義訳.
10. Bewußtsein, Unbewußtes und Individuation. (1939: SS. 291-307; § 489-524)
- ◇「意識と無意識と個性化」『英語英文学論集』14, 31-48. 1983. 鈴木俊司, 森隆訳.
- ◇「意識、無意識、および個性化」『個性化とマンダラ』みすず書房, pp. 49-69. 1991. 林道義訳. ※2016年に新装版.
11. Zur Empirie des Individuationsprozesses. (1934/1950: SS. 309-372; § 525-626)
- ◇「個性化過程の経験」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 139-211. 1980. 野村美紀子訳.
- ◇「個性化過程の経験について」『個性化とマンダラ』みすず書房, pp. 71-148. 1991. 林道義訳. ※2016年に新装版.
12. Über Mandalasymbolik. (1938/1950: SS. 373-407; § 627-712)
- ◇「マンダラの象徴表現」『エピステーマー』2 (7), 146-158. 1976. 高橋巖訳. / 「マンダラの象徴表現 承前」『エピステーマー』3 (3), 182-196. 1977. 高橋巖訳.
- ◇「マンダラ・シンボルについて」『個性化とマンダラ』みすず書房, pp. 149-221. 1991. 林道義訳. ※2016年に新装版.
13. Mandalas. (1955: SS. 409-414; § 713-718)
- ◇「マンダラ」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 213-217. 1980. 野村美紀子訳.
- ◇「マンダラ」『個性化とマンダラ』みすず書房, pp. 223-227. 1991. 林道義訳. ※2016年に新装版.
- Bd. 9/II: Aion: Beiträge zur Symbolik des Selbst**
(9. Auflage 2001)
(1951: SS. 9-284; § 1-429)
- ◇「自我」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 9-16. 1980. 秋山さこ子・野村美紀子訳. 【§ 1-12 の訳】
- ◇「影」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 17-21. 1980. 秋山さこ子・野村美紀子訳. 【§ 13-19 の訳】
- ◇「シュジュギュイ アニマ・アニムス」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 23-38. 1980. 秋山さこ子・野村美紀子訳. 【§ 20-31 の訳】
- ◇「自己」秋山さと子編『ユングの人間論』思索社, pp. 39-56. 1980. 秋山さこ子・野村美紀子訳. 【§ 43-67 の訳】
- ◇『アイオン (ユング・コレクション4)』人文書院. 1990. 野田倬訳. ^{註8}
- Bd. 10: Zivilisation im Übergang (4. Auflage 1991)**
1. Über das Unbewußte. (1918: SS. 15-42; § 1-48)
2. Seele und Erde. (1931/1969: SS. 43-65; § 49-103)
- ◇「心と大地」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 125-162. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳.
※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
3. Der archaische Mensch. (1931/1969: SS. 67-90; § 104-147)
- ◇「古代の人間」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 163-204. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳.
※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
4. Das Seelenproblem des modernen Menschen. (1928/1969: SS. 91-113; § 148-196)
- ◇「現代人の魂の問題」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 261-304. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳.
※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
5. Das Liebesproblem des Studenten. (1928: SS. 115-133; § 197-235)
- ◆「男女学生の恋愛問題」B・ラッセル他著『現代社会の性問題』川出書房, pp. 98-132. 1956. 大場正史編.
- ◇「学生の愛の問題」『ユング研究』7, 25-41. 1993. 林道義編.
6. Die Frau in Europa. (1927/1965: SS. 135-156; § 236-275)
- ◇「ヨーロッパの女性」『人間心理と宗教 (ユング著作集4)』日本教文社, pp. 255-299. 1956. 浜川祥枝訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
7. Die Bedeutung der Psychologie für die Gegenwart. (1933/1969: SS. 157-180; § 276-332)
- ◇「心理学の現代的意義」『こころの構造——近代心理学の應用と進歩 (ユング著作集3)』日本教文社, pp. 39-79. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
8. Zur gegenwärtigen Lage der Psychotherapie. (1934: SS. 181-199; § 333-370)
9. Vorwort zu «Aufsätze zur Zeitgeschichte». (1946: SS. 201-202)
- ◇「現代史に寄せて」『エピステーマー』3 (4), 70-85のうち70-71. 1977. 松代洋一訳.
- ◇「現代史に寄せて」『現代のエスプリ』134, 195-211のうち195-196. 1978. 松代洋一訳.
- ◇「現代史に寄せて——はじめに」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 9-10. 1979. 松代洋一訳.
- ◇「現代史に寄せて——はじめに」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp.

- 13-15. 1996. 松代洋一訳.
10. Wotan. (1936/1946: SS. 203-218; § 371-399)
◇「ヴォータン」『エピステーメー』3 (4), 86-98. 1977. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて——ヴォータン」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 11-30. 1979. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて——ヴォータン」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 16-40. 1996. 松代洋一訳.
11. Nach der Katastrophe. (1945/1946: SS. 219-244; § 400-443)
◇「現代史に寄せて——破局のあとで」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 31-66. 1979. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて——破局のあとで」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 41-84. 1996. 松代洋一訳.
12. Der Kampf mit dem Schatten. (1946/1947: SS. 245-254; § 444-457)
◇「影との戦い」『現代思想』7 (5), 18-24. 1979. 松代洋一訳.
◇「影との戦い」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 91-104. 1979. 松代洋一訳.
◆「影との戦い」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 113-129. 1996. 松代洋一訳.
13. Nachwort zu «Aufsätze zur Zeitgeschichte». (1946: SS. 255-273; § 458-487)
◇「現代史に寄せて」『エピステーメー』3 (4), 70-85のうち71-85. 1977. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて」『現代のエスプリ』134, 195-211のうち196-211. 1978. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて——おわりに」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 67-89. 1979. 松代洋一訳.
◇「現代史に寄せて——おわりに」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 85-112. 1996. 松代洋一訳.
14. Gegenwart und Zukunft. (1957/1964: SS. 275-336; § 488-588)
◇「現在と未来」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 151-237. 1979. 松代洋一訳.
◇「現在と未来」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 183-288. 1996. 松代洋一訳.
15. Ein moderner Mythos von Dingen die am Himmel gesehen werden. (1958/1964: SS. 337-474; § 589-824)
◇「空飛ぶ円盤」『エピステーメー』2 (6), 94-108. 1976. 松代洋一訳. 【§ 589-625の訳】
◇『空飛ぶ円盤 (エスピテメ叢書)』朝日出版社. 1976. 松代洋一訳.
◇『空飛ぶ円盤 (ちくま学芸文庫)』筑摩書房. 1993. 松代洋一訳.
16. Das Gewissen in psychologischer Sicht. (1958: SS. 475-495; § 825-857)
◇「心理学的見地から見た良心」『プシケー』7, 80-98. 1988. 山中康裕, 李敏子訳.
◇「心理学から見た良心」『心理療法論』みすず書房, pp. 76-106. 1989. 林道義編. ※2016年に新装版.
17. Gut und Böse in der analytischen Psychologie. (1959: SS. 497-510; § 858-886)
◇「分析心理学における善と悪」『心理療法論』みすず書房, pp. 107-131. 1989. 林道義編. ※2016年に新装版.
18. Vorrede zu: Toni Wolff «Studien zu C. G. Jungs Psychologie». (1959: SS. 511-518; § 887-902)
19. Die Bedeutung der schweizerischen Linie im Spektrum Europas. (1928: SS. 519-530; § 903-924)
20. Der Aufgang einer neuen Welt. (1930: SS. 531-537; § 925-934)
21. Ein neues Buch von Keyserling «La révolution mondiale et la responsabilité de l'esprit». (1934: SS. 539-545; § 935-945)
22. Komplikationen der amerikanischen Psychologie. (1930: SS. 547-561; § 946-980)
23. Die träumende Welt Indiens. (1939: SS. 563-574; § 981-1001)
◆「インドの夢見る世界」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 105-123. 1979. 松代洋一訳.
◆「インドの夢見る世界」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 131-152. 1996. 松代洋一訳.
24. Was Indien uns lehren kann. (1939: SS. 575-580; § 1002-1013)
◆「インドに教わること」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 125-134. 1979. 松代洋一訳.
◆「インドに教わること」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 153-163. 1996. 松代洋一訳.

Verschiedenes:

25. Geleitwort. (1933: SS. 581-582; § 1014-1015)
26. Zeitgenössisches. (1934: SS. 583-593; § 1016-1034)
◇「ナチズムと心理療法」『心理療法論』みすず書房, pp. 132-146. 1989. 林道義編. ※2016年に新装版.
27. Rundschreiben. (1934: SS. 595-596; § 1035-1038)
28. Geleitwort. (1935: SS. 597-602; § 1039-1051)
29. Vorbemerkung des Herausgebers. (1935: SS. 603-604; § 1052-1054)
30. Begrüßungsansprache zum Achten Allgemeinen Ärztlichen Kongreß in Bad Nauheim. (1935: SS. 605-607; § 1055-1059)
31. Votum C. G. Jung. (1935: SS. 609-612; § 1060-1063)
32. Begrüßungsansprache zum Neunten Inter-

- nationalen Ärztlichen Kongres für Psychotherapie in Kopenhagen. (1937: SS. 613-615; § 1064-1068)
33. Begrüßungsansprache zum Zehnten Internationalen Ärztlichen Kongreß für Psychotherapie in Oxford. (1938: SS. 617-620; § 1069-1073)

Bd. 11: Zur Psychologie westlicher und östlicher Religion (6. Auflage 1992)

Erster Teil: Westliche Religion

1. Psychologie und Religion. (1940/1962: SS. 17-125; § 1-168)
- ◇「人間心理と宗教」『人間心理と宗教 (ユング著作集 4)』日本教文社, pp. 3-220. 1956. 浜川祥枝訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
- ◇「心理学と宗教」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 9-93. 1989. 村本詔司訳.
2. Versuch einer psychologischen Deutung des Trinitätsdogmas. (1942/1948: SS. 127-215; § 169-295).
- ◇「三位一体の教義にたいする心理学的解釈の試み」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 94-182. 1989. 村本詔司訳.
3. Das Wandlungssymbol in der Messe. (1942/1954: SS. 217-310; § 296-448)
- ◇「ミサにおける転換象徴」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 183-281. 1989. 村本詔司訳.
4. Geleitwort zu Victor White: Gott und das Unbewußte. (1952: SS. 313-323; § 449-467)
5. Vorrede zu Zwi Werblowsky: Lucifer and Prometheus. (1952: SS. 324-327; § 468-473)
6. Bruder Klaus. (1933: SS. 328-334; § 474-487)
- ◇「修道士クラウス」『ユング研究』8, 52-59. 1994. 林道義訳.
- ◇「修道士クラウス」『元型論 増補改訂版』紀伊国屋書店, pp. 369-379. 1999. 林道義訳.
7. Über die Beziehung der Psychotherapie zur Seelsorge. (1932/1948: SS. 337-355; § 488-538)
- ◇「心理療法と牧会の関係について」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 282-305. 1989. 村本詔司訳.
8. Psychoanalyse und Seelsorge. (1928: SS. 356-362; § 539-552)
- ◇「精神分析と牧会」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 306-313. 1989. 村本詔司訳.
9. Antwort auf Hiob. (1952/1967: SS. 363-471; § 553-758)
- ◇『ヨブへの答え』ヨルダン社. 1981. 野村美紀子訳.
- ◇『ヨブへの答え』みすず書房. 1988. 林道義訳.
- ◇「ヨブへの答え」『心理学と宗教 (ユング・コレクション 3)』人文書院, pp. 314-437. 1989. 村本詔司訳.

Zweiter Teil: Östlicher Religion

10. Psychologischer Kommentar zu: Das tibetische

- Buch der großen Befreiung. (1955: SS. 477-511; § 759-830)
- ◇「東洋的思惟と西洋的思惟」『現代思想』1 (11), 151-166. 1973. 高橋巖訳. 【§ 759-787の訳】
- ◇「チベットの大きいなる解説の書」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 96-174. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.
11. Psychologischer Kommentar zum Bardo Thödol. (1935/1960: SS. 512-527; § 831-858)
- ◇「チベットの死者の書の心理学」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 61-95. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.
12. Yoga und der Westen. (1936: SS. 531-539; § 859-876)
- ◇「ヨーガと西洋」『中央公論』88 (4), 458-464. 1973. 横山紘一訳.
- ◇「ヨーガと西洋」松代洋一編『ユングの文明論』思索社, pp. 135-149. 1979. 松代洋一訳.
- ◇「ヨーガと西洋」松代洋一編『現在と未来——ユングの文明論 (平凡社ライブラリー, 171)』平凡社, pp. 165-181. 1996. 松代洋一訳.
13. Vorwort zu Daisetz Teitaro Suzuki: Die große Befreiung. (1939/1958: SS. 540-559; § 877-907)
- ◇「ユング博士の禪観」鈴木大拙, 黒田亮, 樽林皓堂, 伊藤古鑑『禪, 第一巻』雄山閣. pp. 107-133. 1941. 濱中英田訳.
- ◇「ユング博士の禪観」『一眞實の世界 (鈴木大拙選集, 第3巻)』春秋社. pp. 210-239. 1952. 濱中英田訳. ※1961年に保存版.
- ◇「ユング博士の禪観」『金剛経の禪・禪への道 (鈴木大拙禪選集, 第4巻)』春秋社. pp. 176-199. 1960. 濱中英田訳. ※1975年と1991年と2001年に新装版.
- ◇「ユング博士の禪観」『禪の思想・禪への道・禪問答と悟り (鈴木大拙全集, 第13巻)』岩波書店, pp. 303-327. 1969. 濱中英田訳. ※2000年に増補新版.
- ◇「禪の瞑想——鈴木大拙によせて」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 175-217. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.
14. Zur Psychologie östlicher Meditation. (1943/1948: SS. 560-576; § 908-949)
- ◇「東洋的瞑想の心理学について」『人間心理と宗教 (ユング著作集 4)』日本教文社, pp. 221-254. 1956. 浜川祥枝訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
- ◇「浄土の瞑想——観無量寿経によせて」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 218-250. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.
15. Über den indischen Heiligen. (1944: SS. 577-586; § 950-963)
- ◇「インドの聖者」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 251-269. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.

16. Vorwort zum I Ging. (1950: SS. 587-606; § 964-1017; E § 964-1018)

◆「易と中国精神」『ユリイカ』6 (9), 264-288. 1974. 中村健二訳.

◇「易と現代」『東洋的瞑想の心理学 (ユング心理学選書⑤)』創元社, pp. 270-321. 1983. 湯浅泰雄, 黒木幹夫訳.

Bd. 12: Psychologie und Alchemie (8. Auflage 2001)
(1944/1952: SS. 11-551; § 1-565)

◇『心理学と錬金術Ⅰ』人文書院. 1976. 池田絃一, 鎌田道生訳. / 『心理学と錬金術Ⅱ』人文書院. 1976. 池田絃一, 鎌田道生訳. ※2017年に新装版.

◇「錬金術作業の心的性質——心的内容の投影」『現代のエスプリ』134, 163-172. 1978. 池田絃一, 鎌田道生訳. 【§ 342-356の訳】

Bd. 13: Studien über alchemistische Vorstellungen (4. Auflage 1993)

1. Kommentar zu «Das Geheimnis der Goldenen Blüte». (1929/1965: SS. 11-63; § 1-84)

◇「《太乙金華宗旨》注解の序」『エピステーメー』3 (4), 39-52. 1977. 森川俊夫訳. 【§ 1-26の抄訳】

◇「第二版のための序文」「ヨーロッパの読者のために注解」「ヨーロッパのマンドラ例」C・G・ユング, R・ヴィルヘルム著『黄金の華の秘密』人文書院, pp. 7-11, 31-111, 112-122. 1980. 湯浅泰雄, 定方昭夫訳.

2. Die Visionen des Zosimos. (1938/1954: SS. 65-121; § 85-144)

3. Paracelsus als geistige Erscheinung. (1942; SS. 123-209; § 145-238)

◆「錬金術と無意識の心理学——精神現象としてのパラケルスス」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学』サイマル出版会, pp. 115-228. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳.

◇「精神現象としてのパラケルスス」『パラケルスス論』みすず書房, pp. 51-235. 1992. 榎木真吉訳.

◇『ユング 錬金術と無意識の心理学 (講談社+α新書)』講談社. 2002. 松田誠思訳.

4. Der Geist Mercurius. (1943/1948: SS. 211-269; § 239-303)

5. Der philosophische Baum. (1945/1954: SS. 271-376; § 304-482)

◇『哲学の木』創元社. 2009. 老松克博監訳, 工藤昌孝訳.

Bd. 14/I u.II: Mysterium Coniunctionis (6. Auflage 1996)

(1955-56/1968: I: SS. 11-294; § 1-340, II: SS. 9-335; § 1-447; E § 1-792 in one volume)

◇『結合の神秘Ⅰ (ユング・コレクション5)』人文書院. 1995. 池田絃一訳. / 『結合の神秘Ⅱ (ユング・コレクション6)』人文書院. 2000. 池田絃一訳.

◇『「結合の神秘」C. G. JUNG』『季刊AZ』29, 127-140. 1993. 入江良平訳. 【II, § 343-346の抄訳と347-365の訳】

Bd. 14/III: Aurora Consurgens (5. Auflage 2001)
(1944/1952: SS. 11-551; § 1-565)^{註9}

Bd. 15: Über das Phänomen des Geistes in Kunst und Wissenschaft (6. Auflage 2001)

1. Paracelsus. (1929/1969: SS. 11-20; § 1-17)

2. Paracelsus als Arzt. (1941/1942: SS. 21-41; § 18-43)

◇「医師としてのパラケルスス」『パラケルスス論』みすず書房, pp. 5-49. 1992. 榎木真吉訳.

3. Sigmund Freud als kulturhistorische Erscheinung. (1932/1969: SS. 43-51; § 44-59)

◇「文化史的現象としてのジークムント・フロイト」『こころの構造——近代心理学の應用と進歩 (ユング著作集3)』日本教文社, pp. 121-134. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.

4. Sigmund Freud. (1939: SS. 53-62; § 60-73)

◇「ジークムント・フロイト」『エピステーメー』3 (4), 53-61. 1977. 菊盛英夫訳.

5. Zum Gedächtnis Richard Wilhelms. (1930: SS. 63-73; § 74-96)

◇「リヒアルト・ヴィルヘルムを記念して」C・G・ユング, R・ヴィルヘルム著『黄金の華の秘密』人文書院, pp. 13-30. 1980. 湯浅泰雄, 定方昭夫訳.

6. Über die Beziehungen der analytischen Psychologie zum dichterischen Kunstwerk. (1922/1969: SS. 75-96; § 97-132)

◇「分析的心理学と文学作品との諸関係について」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 51-89. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.

◇「分析的心理学と文学作品の関係について」『世藝術論大系, 第9巻——ドイツ 現代』河出書房, pp. 99-123. 1957. 浜川祥枝訳.

◆「詩と分析心理学」『同朋大学論叢』55, 178-204. 1986. 江口昇勇訳.

◇「分析心理学と文芸作品の関係」『創造する無意識 (平凡社ライブラリー, 140)』平凡社, pp. 7-48. 1996. 松代洋一訳.

7. Psychologie und Dichtung. (1930/1950: SS. 97-120; § 133-162)

◆「心理学と文学」B・ギースリン編『三十八人の天才たち』新樹社, pp. 390-418. 1975. 若林千鶴子訳.

◆「心理学と文学」『現代のエスプリ』122, 69-85. 1977. 若林千鶴子訳.

◇「文学と心理学」『現代思想』7 (5), 25-41. 1979. 松代洋一訳.

- ◇「文学と心理学」『創造する無意識（ポストモダン叢書，11）』朝日出版社，pp. 5-55. 1985. 松代洋一訳.
- ◇「心理学と文学」『創造する無意識（平凡社ライブラリー，140）』平凡社，pp. 49-95. 1996. 松代洋一訳.
- 8. 《Ulysses》: Ein Monolog. (1932/1969: SS. 121-149; § 163-203)
- ◇「ユリシーズ——一つの獨白」『こころの構造——近代心理學の應用と進歩（ユング著作集3）』日本教文社，pp. 135-178. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版，2014年にPOD版.
- 9. Picasso. (1932/1969: SS. 151-157; § 204-214)
- ◇「ピカソ論」『こころの構造——近代心理學の應用と進歩（ユング著作集3）』日本教文社，pp. 179-189. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版，2014年にPOD版.

Bd. 16: Praxis der Psychotherapie

(5. vollständig revidierte Auflage 1991)

- 1. Geleitwort des Autors. (1957: SS. 11-12)
- Erster Teil: Allgemeine Probleme der Psychotherapie.**
- 2. Grundsätzliches zur praktischen Psychotherapie. (1935: SS. 15-32; § 1-27)
- ◇「心理療法の実践における諸原則」『プシケー』8, 35-54. 1989. 濱野清志訳.
- ◇「臨床的心理療法の基本」『心理療法論』みすず書房，pp. 3-32. 1989. 林道義訳. ※2016年に新装版.
- 3. Was ist Psychotherapie? (1935: SS. 33-40; § 28-45)
- 4. Einige Aspekte der modernen Psychotherapie. (1930: SS. 41-47; § 46-65)
- 5. Ziele der Psychotherapie. (1929/1969: SS. 48-63; § 66-113)
- ◇「心理療法の目標」『心理療法論』みすず書房，pp. 33-62. 1989. 林道義訳. ※2016年に新装版.
- 6. Die Probleme der modernen Psychotherapie. (1929/1969: SS. 64-85; § 114-174)
- ◇「近代精神治療學の諸問題」『現代人のたましい（ユング著作集2）』日本教文社，pp. 3-50. 1955. 高橋義孝，江野専次郎訳. ※1970年に改装版，2014年にPOD版.
- 7. Psychotherapie und Weltanschauung. (1943/1946: SS. 86-93; § 175-191)
- ◇「心理療法と世界観」『心理療法論』みすず書房，pp. 63-75. 1989. 林道義訳. ※2016年に新装版.
- 8. Medizin und Psychotherapie. (1945: SS. 94-102; § 192-211)
- 9. Die Psychotherapie in der Gegenwart. (1945/1946: SS. 103-118; § 212-229)
- 10. Grundfragen der Psychotherapie. (1951: SS. 119-132; § 230-254)
- Zweiter Teil: Spezielle Probleme der Psychotherapie.**
- 11. Der therapeutische Wert des Abreagierens. (1921:

- SS. 135-144; § 255-293)
- 12. Die praktische Verwendbarkeit der Traumanalyse. (1934/1969: SS. 145-165; § 294-352)
- ◇「夢分析の實用性」『こころの構造——近代心理學の應用と進歩（ユング著作集3）』日本教文社，pp. 81-120. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版，2014年にPOD版.
- ◇「夢分析の實用性」『現代のエスプリ』134, 65-86. 1978. 江野専次郎訳.
- ◇「夢分析の臨床使用の可能性」『ユング 夢分析論』みすず書房，pp. 3-33. 2016. 横山博監訳，大塚紳一郎訳.
- 13. Die Psychologie der Übertragung. (1946: SS. 167-319; § 353-539)
- ◇「転移の心理学（1）総論——鍊金術の一連の挿絵に基づく解明」『ユング研究』1, 92-132. 1990. 林道義，磯上恵子訳. / 「転移の心理学（2）——『哲学者の薔薇園』の一連の挿絵を材料にして転移現象を論じる試み」『ユング研究』2, 115-155. 1991. 林道義，磯上恵子訳. / 「転移の心理学（3）——『哲学者の薔薇園』の一連の挿絵を材料にして転移現象を論じる試み」『ユング研究』3, 131-167. 1991. 林道義，磯上恵子訳. / 「転移の心理学（4）——『哲学者の薔薇園』の一連の挿絵を材料にして転移現象を論じる試み」『ユング研究』3, 140-183. 1992. 林道義，磯上恵子訳.
- ◇『転移の心理学』みすず書房. 1994. 林道義，磯上恵子訳. ※2000年と2016年に新装版.

Bd. 17: Über die Entwicklung der Persönlichkeit

(8. Auflage 1994)

- 1. Über Konflikte der kindlichen Seele. (1910/1969: SS. 11-47; § 1-79)
- ◆「子供の心理的生活に関する諸経験」日本變態心理學會編『ユング論文集 聯想實驗法 其他（近世變態心理學大觀，第10卷）』日本變態心理學會，pp. 54-89. 1926. 中村古峽訳.
- ◆「子供の心理的生活に関する諸経験」『聯想實驗法 其他』日本精神醫學會，pp. 54-89. 1927. 中村古峽訳.
- ◇「子供の心理的葛藤について」『人間心理と教育（ユング著作集5）』日本教文社，pp. 110-157. 1956. 西丸四方訳. ※1970年に改装版，2014年にPOD版.
- 2. Einführung zu Frances G. Wickes 《Analyse der Kindesseele》. (1931/1969: SS. 49-58; § 80-97)
- ◆「序文」F・G・ウィックス著『子ども時代の内的世界』海鳴社，pp. 1-9. 1983. 秋山さと子・國分久子訳. ※18巻57と同じ著作
- 3. Die Bedeutung der Analytischen Psychologie für die Erziehung. (1931: SS. 59-76; § 98-126)
- ◇「教育に対する分析心理學の意味」『ユング研究』9, 12-24. 1994. 磯前順一訳.
- 4. Analytische Psychologie und Erziehung. (1926/1969: SS. 77-153; § 127-229)
- ◇「分析心理學と教育」『人間心理と教育（ユング著作集5）』日本教文社，pp. 3-109. 1956. 西丸四方訳. ※1970年に

- 改装版, 2014年にPOD版。
5. Der Begabte. (1943/1969: SS. 155-168; § 230-252)
◇「秀才」『人間心理と教育 (ユング著作集5)』日本教文社, pp. 158-174. 1956. 西丸四方訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
 6. Die Bedeutung des Unbewußten für die individuelle Erziehung. (1928: SS. 169-187; § 253-283)
◇「個人教育に対する無意識の意味」『ユング研究』9, 25-39. 1994. 磯上恵子訳。
 7. Vom Werden der Persönlichkeit. (1934/1969: SS. 189-211; § 284-323)
◇「人格の形成について」『こころの構造——近代心理學の應用と進歩 (ユング著作集3)』日本教文社, pp. 191-225. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。
◇「人格の生成について」『ユング研究』9, 43-64. 1994. 河東仁訳。
 8. Die Ehe als psychologische Beziehung. (1925/1969: SS. 213-227; § 324-345)
◇「心理學的關係としての結婚」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 205-225. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版。

Bd. 18/I u.II: Das symbolische Leben

(3.Auflage 2001)

Halbband I

1. Über Grundlagen der Analytischen Psychologie. Die Tavistock Lectures. (1935: SS. 13-198; § 1-415)
◆『分析心理学』みすず書房, 1976. 小川捷之訳。
2. Symbole und Traumdeutung. (1961: SS. 199-285; § 416-607)
◆「無意識の接近」C・G・ユング編『人間と象徴——無意識の世界』川出書房出版, pp. 13-110. 1972. 河合隼雄監訳, 河合隼雄訳。
◆「無意識の接近」C・G・ユング編『人間と象徴——無意識の世界 (上)』川出書房出版, pp. 17-158. 1975. 河合隼雄監訳, 河合隼雄訳。
◆「象徴と夢解釈」『ユング 夢分析論』みすず書房, pp. 143-251. 2016. 横山博監訳・大塚紳一郎訳。
3. Das symbolische Leben. (1939: SS. 287-314; § 608-696)
◇「シンボルのな生」『ユング研究』6, 153-183. 1993. 葛西賢太訳。
4. Über spiritistische Erscheinungen (1905: SS. 317-333; § 697-740)
◆「心霊的現象について」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 7-33. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「心霊的現象」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 21-56. 2000. 島津彬郎訳。

5. Vorrede zu Jung «Phénomènes occultes» (1939: SS. 335-337; § 741-745)
◆「「観念」の心理学的解釈——『オカルト現象』序文」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 3-6. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「人の心に関するきわどい問題」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 13-19. 2000. 島津彬郎訳。
 6. Psychologie und Spiritismus (1948: SS. 338-343; § 746-756)
◆「心理学と心霊論」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 80-88. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「「あの世」とは」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 121-133. 2000. 島津彬郎訳。
 7. Vorrede und Beritage zu Moser «Spuk: Irrglaube oder Wahrglaube?» (1950: SS. 344-347; § 757-763)
◆「超心理学の対象として」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 89-94. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「幽霊論」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 134-141. 2000. 島津彬郎訳。
- Jung Beitrag (1950: SS. 347-355; § 764-781)
◆「無意識研究の対象として」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 95-106. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「人間の直感力」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 142-157. 2000. 島津彬郎訳。
 8. Vorwort zu Jaffè: «Geistererscheinungen und Vorzeichen. Eine psychologische Deutung» (1957: SS. 356-358; § 782-789)
◆「深層心理学の対象として」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 107-111. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳。
◆「深層心理学を深める」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 158-164. 2000. 島津彬郎訳。

Halbband II

40. Geleitwort zu Jacobi «Die Psychologie von C.G. Jung» (1939: SS. 500-201; § 1121-1122)
◇「ユング教授による序文」J・ヤコービ著『ユング心理学』日本教文社, pp. 9-10. 1973. 池田紘一, 石田行仁, 中谷朝之, 百瀬三郎訳。
42. Vorwort zu Harding «Psychic Energy» (1947: SS. 502-503; § 1125-1128)
◇「ユングによる序文」E・ハーディング著『心的エネルギー (上)』人文書院, pp. 14-16. 1986. 織田尚生, 船井哲夫訳。
45. Geleitwort zu den «Studien sud dem C.G.Jung-Institut Zürich» (1948: SS. 521-522; § 1163-1164)
◇「チューリヒ、C・G・ユング研究所からの研究論文集への

- 前書き」C・A・マイヤー著『夢の治癒力——古代ギリシャの医学と現代精神分析』筑摩書房, pp. i-ii. 1986. 秋山さと子訳.
46. Vorwort zu Frieda Fordham «Introduction to Jung's Psychology» (1957; SS. 523-524; § 1165-1167)
◆「C・G・ユング博士によるまえがき」F・フォーダム著『ユング心理学入門』国文社, pp. 3-5. 1974. 吉元清彦, 福士久夫訳.
50. Die Zukunft der Parapsychologie. (1963; SS. 545-546; § 1213-1222)
◆「超心理学の将来」島津彬郎, 松田誠思編『オカルトの心理学——生と死の謎』サイマル出版会, pp. 112-114. 1989. 島津彬郎, 松田誠思訳.
◆「超心理学のこれから」『オカルトの心理学 (講談社+α新書)』講談社, pp. 165-168. 2000. 島津彬郎訳.
52. Geleitwort zu: Adler «Entdeckung der Seele» (1934; SS. 551; § 1226-1227)
◆「序言」G・アドラー著『魂の発見』人文書院, pp. 5-6. 1979. 野田倬訳.
53. Geleitwort zu Harding «Frauen-Mysterien» (1948; SS. 552-555; § 1228-1233)
◆「C・G・ユング博士の序」M・E・ハーディング著『女性の神秘 (ユング心理学選書⑧)』創元社, pp. i-v. 1985. 林道義訳.
54. Vorwort zu Neumann «Ursprungsgeschichte des Bewusstseins» (1949; SS. 556-557; § 1234-1237)
◇「序文」E・ノイマン著『意識の起源史 (上)』紀伊国屋書店, pp. 15-16. 1984. 林道義訳.
◇「序文」E・ノイマン著『意識の起源史 改訂新装版』紀伊国屋書店, pp. 15-16. 2006. 林道義訳.
57. Vorwort zu Wickes «Von der innere Welt des Menschen» (1953; SS. 563-564; § 1248-1249)
◆「序文」F・G・ウィックス著『子ども時代の内的世界』海鳴社, pp. 1-9. 1983. 秋山さと子・國分久子訳. ※17巻2と同じ著作
67. Vorworte zu Jung «Seelenprobleme der Gegenwart» (1930, 1932, 1959; SS. 596-598; § 1292-1295)
◇「原著序」『現代人のたましい (ユング著作集2)』日本教文社, pp. 1-3. 1955. 高橋義孝, 江野専次郎訳. 【§ 1292-1293の訳】 ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
96. «Geligion und Psychologie» Ein Antwort auf Martin Buber. (1952; SS. 710-717; § 1499-1513)
◇「ブーバーの批判に答える」M・ブーバー著『対話の倫理』創文社, pp. 185-205. 1967. 野口啓祐訳.
105. Faust und die Alchemie (1949; SS. 807-809; § 1692-1699)
◇「C. G. ユングの講演『『ファウスト』と錬金術』『九州ドイツ文学』20, 1-57のうち55-57. 2006. 池田紘一訳.
113. Vorwort zu «Wirklichkeit der Seele» (1993; SS. 827-828; § 1727-1729)
◇「原著序」『こころの構造——近代心理學の應用と進歩 (ユング著作集3)』日本教文社, pp. 3-5. 1955. 江野専次郎訳. ※1970年に改装版, 2014年にPOD版.
120. Vorwort zu Jacobi «Paracelsus: Selected Writings» (1949; SS. 845-846; § 1755-1759)
◆「訳者あとがき」J・ヤコビ編『パラケラス——自然の光』人文書院, pp. 308-311のうち309. 1984. 大橋博司訳.

Bd.19: Bibliographie

Bd.20: Gesamtregister

3. 『他の著作』

1) 補巻・書簡集

- Jung, C. G. (1983). Some Thoughts on Psychology. In; *The Zofingis Lectures. The Collecte Works of C. G. Jung, Supplementary Vol. A.* Princeton: Princeton University Press, pp. 21-43, § 67-134.
◆「心理学をめぐる諸考察」『ユング研究』3, 35-62. 1991. 林道義監訳, 磯前順一訳. 【§ 67-142の訳】
- Jung, C. G. (1973). *Briefe I, 1906-1945.* Olten: Walter.
Jung, C. G. (1973). *Briefe II, 1946-1955.* Olten: Walter.
Jung, C. G. (1973). *Briefe III, 1956-1961.* Olten: Walter.
◆「ライン宛ユング書簡集」『季刊AZ』29, 45-77. 1993. 湯浅泰雄訳. 【上記 Briefe I-IIIの抄訳】
◆「ユング書簡」『ユング超心理学書簡』白亜書房, pp. 19-151. 1999. 湯浅泰雄訳. 【上記 Briefe I-IIIの抄訳】
◆「書簡より」土肥美夫編『チューリヒ——予兆の十字路 (ドイツの世紀末, 第5巻)』国書刊行会, pp. 252-256. 1987. 春山清純訳. 【上記 Briefe I-IIIの抄訳】
- Freud, S. & Jung, C. G. (1974). *The Freud / Jung Letter: The Correspondence between Sigmund Freud and Carl Gustav Jung.* Princeton: Princeton University Press.
◆『フロイト=ユング報復書簡集 (上)』誠信書房. 1980. 平田武靖訳. / 『フロイト=ユング報復書簡集 (下)』誠信書房. 1987. 平田武靖訳.
◇『フロイト=ユング報復書簡 (上)』講談社. 2007. 金森誠也訳. / 『フロイト=ユング報復書簡 (下)』講談社. 2007. 金森誠也訳.

2) セミナー

- Jung, C. G. (1975). Psychological Commentary on Kundalini Yoga: Lecture One and Two. *Spring: An Annual of Archetypal Psychology and Jungian Thought*, 1975: 1-32. / Jung, C. G. (1976). Psychological Commentary on Kundalini

- Yoga: Lecture Three and Four. *Spring: An Annual of Archetypal Psychology and Jungian Thought* 1976, 1-31.
- ◆「クンダリニ・ヨガの心理学的注解」『プシケー』, 5, 19-43. 1986. 阿内正弘・白濱好明・湯浅泰雄訳. / 「クンダリニ・ヨガの心理学的注解 (2)」『プシケー』, 6, 45-71. 1987. 阿内正弘・白濱好明・湯浅泰雄訳. / 「クンダリニ・ヨガの心理学的注解 (3)」『プシケー』, 6, 42-79. 1988. 湯浅泰雄訳.
- Jung, C. G. (1976). *Visions: Notes of the Seminar Given in 1930-1934* (2 Volume Set). Edited by C. Douglas. NJ: Princeton University Press.
- ◆『ヴィジョン・セミナー』創元社. 2011. 氏原寛, 老松克博監訳, 角野善宏, 川戸圓, 宮野素子, 山下雅也訳.
- Jung, C. G. (1984). *Dream Analysis: Notes on the Seminar given in 1928-1930 by C. G. Jung*. Princeton: Princeton University Press.
- ◆『夢分析Ⅰ (ユング・コレクション13)』人文書院. 2001. 入江良平訳. / 『夢分析Ⅱ (ユング・コレクション14)』人文書院. 2002. 入江良平, 細井直子訳.
- Jung, C. G. (1987). *Seminare. Kinderträume: Zur Methodik der Trauminterpretation. Psychologische Interpretation von Kinderträumen*. Olten: Walter.
- ◇『子どもの夢Ⅰ (ユング・コレクション8)』人文書院. 1992. 氏原寛監訳, 李敏子, 青木真理, 皆藤章, 吉川真理訳. / 『子どもの夢Ⅱ (ユング・コレクション9)』人文書院. 1992. 氏原寛監訳, 皆藤章, 吉川真理, 鈴木睦夫, 森谷寛之訳.
- Jung, C. G. (1998). *Die Psychologie des Kundalini-Yoga: Nach Aufzeichnungen des Seminars 1932*. Düsseldorf: Walter.
- ◇『クンダリニ・ヨーガの心理学』創元社. 2004. 老松克博訳.
- ### 3) 書籍
- Jaffé, A (Hrsg.) (1977). *C. G. Jung: Bild und Wort*. Olten: Walter.
- ◇『ユング——そのイメージとことば』誠信書房. 1995. 氏原寛訳.
- Jung, C. G. / Jaffé, A. (1962). *Memories, Dreames, Reflection*. New York: Pantheon Books.^{註10}
- ◆『ユング自伝Ⅰ——想い出・夢・思想』みすず書房. 1972. 河合隼雄, 藤縄昭, 出井淑子訳. / 『ユング自伝Ⅱ——想い出・夢・思想』みすず書房. 1973. 河合隼雄, 藤縄昭, 出井淑子訳.
- ◆「死者たちへの七つの教え」土肥美夫編『チューリヒ——予兆の十字路 (ドイツの世紀末, 第5巻)』国書刊行会, pp. 232-251. 1987. 春山清純訳. 【付録の1つの訳】
- Jung, C. G. (1997). Faust und die Alchemie. In I. Gerber-Münch, *Goethes Faust: Eine tiefenpsychologische Studie über den Mythos des Modernen Menschen*. Künznacht: Verlag Stiftung für Jung'sche Psychologie, SS. 13-37.
- ◇「C. G. ユングの講演『「ファウスト」と錬金術』『九州ドイツ文学』20, 1-57のうち6-54. 2006. 池田紘一訳.
- Jung, C. G. (2009). *The Red Book = Liber novus*. New York: W.W. Norton.
- ◇『赤の書』創元社. 2010. 河合俊雄監訳, 田中康裕, 猪俣剛, 高月玲子訳.
- ◇『赤の書 テキスト版』創元社. 2014. 河合俊雄監訳, 田中康裕, 猪俣剛, 高月玲子訳.
- Jung, C. G. (1977). *C. G. Jung Speaking Interviews and Encounters*. Princeton: Princeton University Press.
- ◆「ユングは語る」E・A・ベンネット著『ユングの世界——こころの分析とその生涯』川島書店. 1973. 萩尾重樹訳. [The Stepjen Black Interviews. pp. 252-267の訳]
- ◆R・I・エヴァンズ著『無意識の探究——ユングとの対話』誠信書房, pp. 31-158. 1978. 浪花博・岡田康伸訳. [The Houston Films. pp. 276-352の訳]
- ◆「分析心理学は宗教か——C・G・ユングのスピーチのノートから (1937)」『春秋』290, 1-5. 1987. 渡辺学訳. [Is Analytical Psychology a Religion?. pp. 34-95の訳]
- ◆「C・G・ユング」R・I・エヴァンズ著『現代心理学入門 (下) (講談社学術文庫, 598)』講談社, pp. 229-259. 1982. 犬田充訳. [The Houston Films. pp. 276-352の抄訳]
- ### 4) その他
- C・G・ユング, 久松真一「無意識と無心」『FAS』39, 頁数不明. 1959. 辻村公一訳.^{註11}
- 採録1: 「禅と精神分析——無意識と無心」『東洋的無 (久松慎一著作集, 第1巻)』理想社, pp. 381-397. 1969. 辻村公一訳. ※1995年に増補版,
- 採録2: 「禅と精神分析——無意識と無心」上田閑照編『禅の世界』理想社, pp. 27-42. 1983. 辻村公一訳.
- 英訳1: Jung, C. G. & Hisamatsu, S; On the Unconscious, the Self and the Therapy, *Psychologia*, 11, 25-32. 1968. Translated by S, Toyomura.
- 英訳2: Self and Liberation: A Dialogue Between Carl G. Jung and Shin'ichi Hisamatsu. In; D. J. Meckel & R. L. Moore (eds.) *Self and Liberation: The Jung-Buddhism Dialogue*. New York: Paulist Press, pp. 103-113. 1992.
- ドイツ語訳: Gespräch mit einem Zen-Meister. In; R. Hinshaw und L. Fischli (Hrsg.) *C.G. Jung im Gespräch: Interviews, Reden, Begegnungen*. Zürich: Daimon, SS. 186-197. 1986.
- ### 5) 初出不明
- 次の文献はどの著作からの邦訳なのか分からないかった。しかし、一つの邦訳であるので、ここに記しておく。「禅は<根源的人間>を示唆する」『論叢』4 (5), 102-105. 1962. 竹山忠雄訳.

4. おわりに

本稿は、ユング著作の邦訳文献をドイツ語『全集』に従って一覧にまとめたものである。文献学的な資料として、ユングに関心を持つ方々に少しでも役立てれば幸甚である。

この一覧を作成するにあたり、儀前・和田（1990）の文献目録、A・ストー著『エッセンシャル・ユング』（山中康裕監訳，1997）の「著作目録」、そして渡辺学氏の「A. ユングの著作」「B. ユングの著作の邦訳」には大いに助けられた。これらの丁寧な仕事をしてくださっていた先生方に謝意を表したい。

とはいえ、本稿は上の文献情報の単なる寄せ集めではない。新しく邦訳文献を発見し、転載や再掲の詳細を記し、最新の文献を押さえており、訳出部分も特定しているという点で、新規の文献目録と位置付けることができるだろう。

註 釈

1. 参照した英語版『全集』は以下の通りである。

- Vol.1: *Psychiatric Studies* (2ed in 1975, 5th printing in 1983)
 Vol.2: *Experimental Researches* (1973, 5th printing in 1990)
 Vol.3: *The Psychogenesis of Mental Disease* (1960)
 Vol.4: *Freud and Psychoanalysis* (1961, 6th printing in 1989)
 Vol.5: *Symbols of Transformation* (2ed in 1967, 10th printing in 1990)
 Vol.6: *Psychological Types* (2ed in 1974, 9th printing, in 1990)
 Vol.7: *Two Essays on Analytical Psychology* (2ed in 1966, 4th printing in 1977)
 Vol.8: *The Structure and Dynamics of the Psyche* (1960, 5th printing in 1981)
 Vol.9/I: *The Archetypes and the Collective Unconscious* (2ed in 1968, 10th printing in 1990)
 Vol.9/II: *Aion: Researches into the Phenomenology of the Self* (2ed in 1968, 5th printing in 1975)
 Vol.10: *Civilization in Transition* (2ed in 1970, 3rd printing in 1978)
 Vol.11: *Psychology and Religion: West and East* (2ed in 1969, 8th printing in 1989)
 Vol.12: *Psychology and Alchemy* (2ed in 1968, 8th printing in 1993)
 Vol.13: *Alchemical Studies* (1967, 1983)
 Vol.14: *Mysterium Coniunctionis* (2ed in 1970, 7th printing in 1989)
 Vol.15: *The Spirit in Man, Art, and Literature* (1966, 4th printing in 1978)
 Vol.16: *The Practice of Psychotherapy* (2ed in 1966, 1985)
 Vol.17: *The Development of Personality* (1954, 5th printing I 1981)

Vol.18: *The Symbolic Life: Miscellaneous Writings* (1976, 3rd printing in 1989)

Vol.19: *General Bibliography* (Revised Edition in 1992)

Vol.20: *General Index* (1979)

2. 日本変態心理学会と日本精神医学会の『ユング論文集』はCiNii Booksなどで検索してもヒットしない。どちらも、バーナード・ハート著『狂人の心理』と合本になっており、書名では判断できないが、書籍後半に『ユング論文集』が収められている。
3. 筆者らが最初に当たったドイツ語第3巻は2001年の第5版であったが、後半にパラグラフで乱丁を見つけた。もしかすると、読者の手許にある版にも乱丁があるかもしれないため、ご注意いただきたい。
4. 英語版『全集』において本著作は、「The Content of the Psychoses」(E S 320-387)と「On Psychological Understanding」(E S 388-424)に分けて掲載してある。ただし、ドイツ語版とパラグラフに違いはない。
5. ドイツ語第5巻には「Anhang」に「Übersetzungen」(Sは付されていない)があるが、ここには記さなかった。1985年と1992年の野村美紀子訳は、この「Übersetzungen」を除く全訳である。
6. これはユングの1912年のドイツ語初版を英訳したもののからの邦訳である。英語版『全集』では、歴史的な意味から、この初版英訳を『全集』の補巻としている。したがって、この邦訳にも重要な意味があることになるだろう。ユングは本書を何度か改訂しているため、この邦訳文献の訳出部分を特定することはできない。したがって、次の文献の全邦訳と理解した方が正確かもしれない。
- Jung, C. G. (1991). *Psychology of the Unconscious: A Study of the Transformations and Symbolisms of the Libido*. The Collected Works of C. G. Jung, Supplementary Vol. B. Princeton and Oxford: Princeton University Press.
7. ドイツ語第6巻にも「Anhang」があるが、それに通し番号を付けて、ここに記すことはしなかった。訳書『タイプ論』と『心理学的類型I・II』は、「Anhang」を含めた本巻全訳である。
8. 本訳書は、『全集』では未掲載のM-L・フォン・フランツによる「ペルベトゥアの殉教——心理学的解釈の試み」も訳出している。
9. マリー・ルイーゼ・フォン・フランツによる本著作は英語版『全集』には含まれていない。
10. この訳書には未訳部分がある。以下の文献。
- 村本詔司 (1986). 『ユング自伝』英語版と日本語版の未訳部分. 花園大学研究紀要, 17: 1-26.
- Muramoto, S. (1987). Completing the Memoirs: The Passages Omitted or Transposed in the English and Japanese Version of Jung's Autobiography. *Spring: An Annual of Archetypa; Psychology and Jungian Thoughts*, 1987, 163-172.

11. 著書『Self and Liberation』（英訳2）の第二部101-140頁には、英訳が掲載されているほか、ユングと久松慎一との対話について考察がなされている。なお、本著作の出処については、以下の文献が詳しい。

村本詔司 (1993). 久松慎一とユングの対話——資料的検討. 禅文化研究所紀要, 19: 153-180.

文 献

磯前順一・和田光俊 「C・G・ユング著作邦訳文献目録 (1918-1989) ——C. G. Jung Bibliographie (Die Gesammelten Werke von C. G. Jung, 19. Bd.), Japanische Übersetzungen への補遺」『東京大学宗教学年報』7号、155-181頁、1990年

「著作目録」In ; A・ストー (著), 山中康裕 (監訳), 菅野信夫・皆藤章・濱野清志・川崎克哲 (訳) 『エッセンシャル・ユング——ユングが語るユング心理学』創元社、464-480頁、1997年

渡辺学「A. ユングの著作——ドイツ語・英語 (邦訳対応)」
【2016年8月22日閲覧】

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~mwatanab/links/jungbib-a.htm>

渡辺学「B. ユングの著作の邦訳」【2016年8月22日閲覧】

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~mwatanab/links/jungbib-b.htm>

(2017.7.10 受稿, 2017.7.10 受理)